

新森小路小学校

所在地 大阪市旭区新森6-3-13

電話番号 06-6953-3800

校長名 橋本 学

標準服の有無 無



学校の概要

本校は、今年で創立77年目を迎える大阪市内では比較的大きな規模の小学校です。今年度の学校教育目標を「自ら考えずんで活動する心豊かな子」、目指す子ども像を「あいさつする子」「人の話を聞く子」「ルールを守る子」「ちがいを認める子」「自分を好きになる子」「チャレンジする子」の6つ(合言葉は、「あひるのチャレンジ」)とし、教育活動を進めています。

学校ホームページ

<http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e681517>

大阪市立新森小路小学校



携帯サイト

主な学校行事

4月…1年生を迎える会、学習参観・懇談会

5月…家庭訪問、春の遠足
新体力テスト

6月…一泊学習(5年)
プール開き
土曜授業(防災教室)

7月…学期末個人懇談会

9月…学習参観

10月…運動会、ウォークラリー

11月…修学旅行(6年)
学習参観、作品展

12月…学期末個人懇談会

2月…学習参観・懇談会
幼保小交流

3月…卒業を祝う会



児童数、学級数 (令和8年5月1日現在)

学年	男子	女子	計	学級数
1	41	48	89	3
2	46	46	92	3
3	52	46	98	3
4	40	50	90	3
5	51	35	86	3
6	62	50	112	4
特別支援学級				9

学校公開・説明会 日程

●学校公開/9月18日(金) 14:00~15:00

●学校説明会/9月18日(金) 14:00~15:00

*参加にあたっては必ず12・13ページをご確認ください。

通学区域以外からの就学について

●集団登校/無

●通学のルール/保護者の責任において通学する。

全国学力・学習状況調査及び全国体力・運動能力、運動習慣等調査

令和7年度全国学力・学習状況調査 (平均正答率)

国語	算数	理科
59%	52%	50%

●結果の概要/国語科・算数科共に大阪市平均を上回ることはできなかった。課題の見られる児童の学力向上に取り組んだ結果、3年生と5年生では、大阪市平均を上回る結果となった。

●取組の成果/国語の「書く力」に重点を置いた取組が顕著な成果を上げた。課題のある児童の学力が向上したほか、特に3年生と5年生の「書くこと」で大阪市平均を上回る数値を達成した。

●今後の取組むべき課題/次年度に向けては、成果のあった学力向上の取組を継続するとともに、行事等の達成感や称賛を通して児童の自己肯定感を高める児童の育成に努める。

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 (平均値)

	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回)	20mシャトルラン(秒)	50m走(秒)	立ち幅とび(回)	ソフトボール投げ(m)	体力合計点
男子	15.20	19.60	31.47	35.86	51.72	9.34	153.14	21.04	51.59
女子	15.30	19.42	38.98	34.07	38.84	10.08	144.57	13.26	52.85

●結果の概要/体力合計点は、男女とも大阪市平均を上回り、全国平均を下回っている。実技種目では、男子は「上体起こし」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」において、女子は「上体起こし」「長座体前屈」「20mシャトルラン」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」において、大阪市・全国平均を上回っている。

●取組の成果/平均値や結果の概要から分かるように、男女とも運動能力は比較的高いと言える。特に男子は、運動好きで、休み時間に外で遊んでいる児童が多い。男女とも体育も積極的に活動している。これらの結果であると考えられる。

●今後の取組むべき課題/男女とも「反復横とび」が大阪市・全国平均を下回っている。俊敏性を高める運動を取り入れるだけでなく、リズム感を付けさせたり、重心をコントロールさせたりすることが必要だと考える。また、運動する時間にも課題がある。広い運動場という本校の特性を生かして、休み時間に体を動かす動きかけを行うとともに、学校だよりや学年だより、保健だよりなどを通して、運動することの大切さや楽しさを伝えていく。

*各調査の概要については、14ページをご覧ください。

教育目標

「自ら考えずんで活動する心豊かな子」



めざす子ども像

めざす子ども・教職員像	
あ	「あいさつする」⇒「先生や友達が見てくれている」という安心感 ・心を開き、自分からつながり、つながる ・心と体のスイッチを入れる
ひ	「人の話をきく」⇒「先生や友達は話をきいてくれる」という安心感 ・自分の考えを伝え合い、聴き(聞き)合う ・信頼される自分をつくる
る	「ルールを守る」⇒「安心して過ごせる」という安心感 ・みんなが楽しく過ごせるようにする(相手を思いやる) ・信頼される自分をつくる
ち	「ちがいを認める」⇒「みんなちがっていい」という安心感 ・誰にとっても居心地の良い場所をつくる ・新しい発見を増やす
じ	「自分を好きになる」⇒「自分は自分でいいんだ」という安心感 ・自分の小さながんばりや成長を見つける ・失敗した自分を責めるのではなく、次はこうしようと思う
チャレンジ	「チャレンジする」⇒「失敗しても大丈夫! 次もがんばろう!」という意欲 ・まずはやってみるという気持ちをもつ ・できる喜びを味わう



運営に関する計画の概要

1.安全・安心な教育の推進

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。



2.未来を切り拓く学力・体力の向上

- 小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より0.3ポイント向上させる。

3.学びを支える教育環境の充実

- 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を68%以上にする。
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月25時間以下にする。
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を68%以上にする。